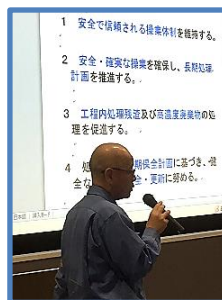




東京PCB廃棄物処理事業だより (No.53)

平成30年度事業所方針

4月2日、年度初めにあって、JESCO 東京 PCB 処理事業所・田中所長から JESCO 社員と運転委託会社の東京環境オペレーション(株)社員に平成30年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の通り)。長期処理計画および長期保全計画に基づいて、安全で安定した操業と保全を確実に実行し、PCB 廃棄物の早期処理完遂をめざして取り組んで行くことを全員で確認し、実現することを誓いました。



事業方針所長訓示

平成30年度 JESCO 東京 PCB 処理事業所方針

1. 安全で信頼される操業体制を維持する。
2. 安全・確実な操業を確保し、長期処理計画を推進する。
3. 工程内処理残渣及び高濃度廃棄物の処理を促進する。
4. 処理施設の長期保全計画に基づき、健全なる設備の保全・更新に努める。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

3月7日、JESCO 本社にて平成29年度第3回東京 PCB 処理事業部会(主査：永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会では、議題1として、平成29年度下期の操業状況を報告しました。議題2として、平成30年度長期処理計画として1都3県の今後の処理予定について報告しました。

議題3として、長期保全計画(平成30年度改訂版)として設備の補修に関する長期計画について報告しました。

議題4として、平成29年度設備保全項目と平成30年度設備保全予定項目として、今年度の補修実績と来年度の補修計画を報告しました。

議題5として、リン含有 PCB 油前処理実証設備による実証試験の状況について説明しました。

議題6として、平成29年度内部技術評価結果と所見への対応として、昨年9月に実施された社内技術監査について報告しました。

最後に議題7として、平成30年度東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題について報告しました。今後も各委員からご指導をいただき、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。



東京 PCB 処理事業部会

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成30年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	53台	3,703台
コンデンサ類	2,030台	55,653台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました

3月27日、ホテルイースト21にて第39回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：中杉修身 国立環境研究所環境リスク・健康研究センター）を開催しました。



環境安全委員会

委員会では、議題1として、平成29年度下期の操業状況について報告しました。

議題2として、平成29年度設備保全実施項目と長期保全計画に基づく平成30年度設備保全予定項目について報告しました。

議題3として、リン含有PCB油前処理設備による実証試験の状況について報告しました。

会議では、今回はトラブルの発生もなく順調な処理を推進したことに対して評価いただくとともに、事業終了に向けた処理の推進に対してご意見・ご助言をいただきました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行なってまいります。

※環境安全委員会は公開にて開催しており、当日配布資料は当社ホームページでご覧いただけます。

http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/environment/pla_39.html

首都圏広域協議会が開催されました

3月12日、東京PCB処理事業所にて第22回首都圏広域協議会が開催されました。

広域協議会は、1都3県5政令指定都市および6中核市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されています。

会議では、最初に会長である東京都から、計画的処理完了期限の平成34年度末まであと約5年であり、各自治体では、処理対象物の掘り起し、立入指導、保管・適正処理等の指導を進めているところですが、自治体間で情報交換をしながら、期限内処理を目指して着実に前に進んでいきたい、とのご挨拶がありました。

環境省からは、PCB廃棄物の早期処理に係る国の取組、掘り起し調査の効率化・加速化支援業務および実施状況、平成29年度PCB使用安定器掘り起しモデル調査等の説明がありました。

当社からは①平成29年度の処理実績②平成30年度受け入れ予定量③処理の進捗状況④1都3県に係る重点搬入計画⑤安定器等・汚染物の処理量等を報告しました。

出席自治体からは、北九州地域で対応が見込まれる行政代執行についての質問がある等、PCBの早期処理推進に向けて有意義な意見交換がなされました。

平成29年度施設見学状況

平成29年度は、保管事業者、官公庁及びスーパーエコタウン見学会の参加者等、78団体816名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4-6月	7-9月	10-12月	1月-3月	年度計
団体数	18団体	23団体	19団体	18団体	78団体
見学者数	135名	251名	248名	182名	816名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）

TEL03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>